

## 住まいを購入して財布の負担感を減らす方法

～ウェブアンケートにみる生活負担感の実際～

住宅市場研究室 小間 幸一 [kouichi-koma@toshinjyuken.co.jp](mailto:kouichi-koma@toshinjyuken.co.jp)

住まいの購入者層（購入済者&購入希望者）が生活で負担に感じるものは何だろうか？住まいは人生の中でも最も高額な商品といわれている。やはり負担感が高いのだろうか？他の商品の場合はどうなっているのだろうか？負担感を軽減するにはどうすれば良いのだろうか？ヒントを探るため、当研究所では住まい購入者層（購入済者&購入希望者）へのウェブアンケート（愛知県在住、サンプル数＝215件、6月）を実施した。

### ●日常生活で負担に感じるものは？（表1）

結果を見ると、一位は住宅に関する支払い（60%）、二位は自動車に関する支払い（55.81%）となった。やはり住まいに関するローン、家賃等は最も負担が重いと感じているようだ。しかし、車の購入やローン、ガソリン等の維持費も住まいと同レベルの負担を感じている実態も浮き彫りになった。住まいと自動車以外では、三位が食費（46.05%）、四位が生命・入院・障害保険（41.86%）、五位が水道・光熱費（40.00%）となっている。

### ●住まいの活用で生活の負担を軽くするヒント

確かに住まいは高額には違いない、しかし時代の変化とともにそうとばかりも言えなくなってきたようだ。

例えば、普及が著しい太陽光発電システムを搭載する住まいであれば、光熱費を低減させることは可能だ。住まい自体も遮熱性が高まっているため、一層光熱費は低減すると思われる。

最近では、家庭で充電可能なプラグインハイブリッドカーや電気自動車の普及が今後加速しそうだ。そうなれば太陽光発電の電気で車の燃費が助かることになる。これは自動車所有の負担感軽減につながる。

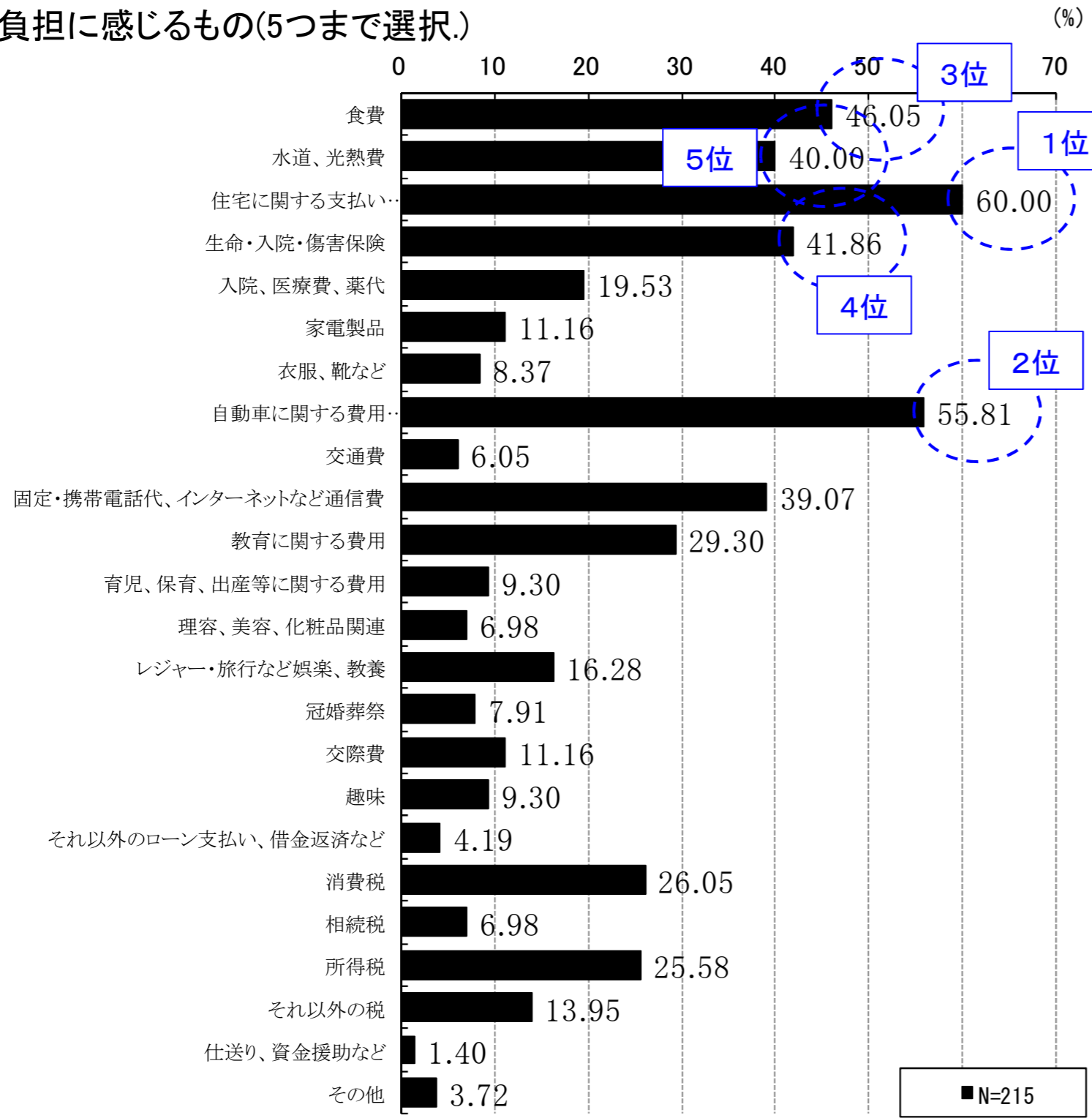
又、住まいの中に家庭菜園、はたまたLED照明等を活用した省スペースで省エネルギーの野菜工場でも設置できれば食費の負担感も軽減できる可能性が生まれる。

このように最新テクノロジーの住まいを購入することで、生活の負担感が全体ではかえって減少するのではないだろうか。しかも住まいも依然と比べ、お手頃価格のものが増えている。業界人の我田引水と笑われそうだが、財布の負担感を減らすヒントとして住まい検討の際にぜひ思い出していただきたい。

以上

本ページの内容はあくまで執筆者の個人的見解に基づくもので、当社としての正式見解と必ずしも一致するものではありません。予めご了承願います。

表1. 日常生活で負担に感じるものを5つまで選択



調査対象者 : 愛知県在住で3年以内に戸建住宅・マンションを購入した、または3年以内に戸建住宅・マンションを購入したい人

サンプル数 : 2013年6月調査 n=215

調査会社 : 株式会社インテージ [www.intage.co.jp](http://www.intage.co.jp)

データ分析 : 東新住建株式会社住宅市場研究室